



市政に 対する

一般質問

そこが... 聞きたい

一般質問は、提出議案以外の市政全般にわたり事務の執行状況や将来に向かっての方針などを執行部に尋ねるものです。今期定例会では、六名の議員によって二日間にわたり行われました。

主な質問と答弁の主旨は次のとおりです。

市内循環バス及び 愛国心通知表について

落合 信夫議員

・質問 循環バスは、予算上九月までの運行となつてい

る。高齢者や障害者の足を確保することは社会的弱者を救済するという意味で必須の行政と考えるが市長の見解を伺いたい。

報道によると、市内の学校一校で愛国心表記の削除が行われたとのことである。この間の経緯と教育委員会としての見解を伺いたい。

・答弁 (市長)

市内循環バスの存続については、選挙期間中の市民との対話の中で大変に要望の多い事項であった。これまでの経緯はあるにせよ、基本的には存続させる方針であるが、その方法はデマンド方式(自宅から目的地までを送迎する)、

あるいは車両の小型化について検討している。

また受益者負担についても考慮していかなければならぬと考へており、就任後すぐに担当課に指示をしたところである。予算の切れる十月一日以降、利用者の不便とならぬよう対処して参りたいのでご理解頂きたい。

・答弁 (教育次長)

通知表は校長の責任の下、学習指導要領及び埼玉県小学校教育課程評価資料等に従い毎年検討を加え、各学校で作成しているものである。ご指摘の件は、市内の小学校一校において通知表にあった『国を愛する心情を持つ』とす

六学年社会科の目標に示されている「わが国の歴史と伝統を大切にし、国を愛する心情を育てようとする」という一部分によるものである。

この評価項目は子供の内心を調べ、国を愛する心情を持つているかどうかを評価するものではなく、歴史や伝統に関する学習内容に対する関心等を総合的に評価するものであると考へる。その後の見直しは子供や保護者が見て、よりわかりやすい表現となるよう変更したものである。

従つて教育委員会としては今後も学校の判断や考へを尊重してまいりたいと思う。

その他の質問

・ゴミ減量化運動の展開
・内水害対策について

産業建設委員会において 副委員長を互選

七月十三日に開催された産業建設委員会において、欠員となつていた、副委員長の互選が行われました。

その結果、新たに峯順三議員が副委員長に就任しました。

新議員紹介



島村 勉議員



保泉和正議員

六月十一日の羽生市議会議員補欠選挙において、無投票により当選した島村勉議員、保泉和正議員は六月定例会が当選後初めての議会でありました。

本会議にて紹介の後、次の通り議席の指定、常任委員の選任が行われました。

- 島村 勉議員
議席番号 一番
- 保泉和正議員
議席番号 二番
- 常任委員会 文教民生委員会